

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業（令和2年度実施計画分）の実施状況と効果

整理番号	事業名	事業概要	交付金活用額 (千円)	事業実施状況	効果検証
1	富山県・市町村新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業	県の休業の要請等に応じて、要請期間中全面的に協力いただける中小企業・個人事業主に対し、県と連携して協力金を支給する。	6,567	中小企業・個人事業主に対し、県と連携して協力金を支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業者等の事業継続に寄与した。
2	ふるさとおやべ応援事業	新型コロナ対策に従事している医療従事者等に対する支援として、ふるさと納税の仕組みを活用して寄附を募り、感染症防止対策を必要とする各種施設へ物資等の支援を行う。	175	寄附金を募る際のポータルサイトへの手数料を負担した。	寄附金を活用し、感染症防止対策を必要とする各種施設への支援を実施することができた。
3	雇用調整助成金等申請費用助成事業	雇用調整助成金等を活用する市内の事業者に対して、助成金申請に要する費用を補助する。	586	助成金申請に要する費用を補助した。	円滑な助成金申請を促し、市内個人事業者の事業継続に寄与した。
4	プレミアム付飲食券発行事業	売上の減少が著しい飲食業に対し、その収益確保に向けた支援策として、プレミアム付飲食券発行事業への補助を行う。	9,233	プレミアム付飲食券発行事業へ補助金を交付した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける地域経済の活性化に寄与した。
5	県緊急融資保証料助成等事業	富山県制度融資及び富山県経済変動対策緊急融資を活用する事業者の保証料及び利子に対して助成する。	307	富山県新型コロナウイルス感染症対応資金に係る保証料助成及び利子に対して助成を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者の事業継続に寄与した。
6	ひとり親家庭応援特別給付金事業	新型コロナウイルス感染症対策のための子どもの休校や保護者の休業により、経済的な影響を受けているひとり親家庭を支援するため1世帯あたり10万円を支給する。	10,100	ひとり親世帯に対して1世帯あたり10万円の給付金を支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親世帯の経済的負担軽減に寄与した。
7	食事提供施設における飛沫感染等防止設備整備助成事業	市内飲食店等が飛沫感染防止対策としての設備整備する費用を助成する。	3,057	飛沫感染防止対策を実施する食事提供施設へ助成した。	食事提供施設の飛沫感染防止対策を実施を促すことで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に寄与した。
8	おやべ元気回復プロジェクト助成金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者等の応援や地域経済の回復を目的として、おやべの元気回復に向けたプロジェクトに取り組む団体に対し、「おやべ元気回復プロジェクト助成金」を交付する。	1,432	持続化給付申請などの手続きに関する相談支援を行うおやべの元気回復に向けた取組みを行う中小企業等へ助成した。	給付申請手続きを円滑に実施することができるなど、おやべの元気回復に向けた取組みに寄与した。
9	情報教育環境整備事業（単独分）	G I G Aスクール構想実現に向け、児童生徒1人1台タブレット端末整備する。	62,324	児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備した。	児童生徒に1人1台のタブレット端末が整備され、学習活動が一層充実した。
10	ひとり親家庭応援事業	経済的負担の影響を大きく受けるひとり親家庭を支援するため、県及び市町村が共同でお米券を配布する。	190	児童扶養手当を受給しているひとり親世帯へお米券を配布した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親世帯の経済的負担軽減に寄与した。
11	給食センター事業	夏場においても、安全に給食を提供するために空調設備の整備、衛生面を考慮した給食メニューへの変更を実施する。	3,297	給食調理現場の空調設備の整備及び衛生面を考慮したメニュー変更を実施した。	夏場においても、衛生面を考慮した安全な給食を提供することができた。
12	修学旅行キャンセル料補助事業	新型コロナウイルス感染症の対応により、市内中学3年生の修学旅行が中止となったためキャンセル料を補助する。	561	旅行キャンセル料（保護者負担）について、学校を通じて保護者に補助した。	修学旅行が中止に伴う、保護者負担の軽減につながった。
13	小学校管理事業	夏場の授業に対応するため、空調が整備されていない特別教室について大型冷風扇を設置する。	1,252	大型冷風扇を小学校特別教室に設置した。	夏場における安全な授業の実施に寄与した。
14	中学校管理事業	夏場の授業に対応するため、が整備されていない特別教室について大型冷風扇を設置する。	3,005	大型冷風扇を中学校特別教室に設置した。	夏場における安全な授業の実施に寄与した。
15	指定管理施設支援事業	市からの休業指示に応じた指定管理施設を対象とし、休業指示協力金と再会支援金を支給し、継続的な維持管理を支援する。	5,056	休業指示協力金及び再開支援金を対象指定管理者に支給した。	市からの休業指示に応じた指定管理施設の継続的な維持管理に寄与した。
16	テレワーク環境の整備事業	感染対策としてテレワークを導入する。	2,954	テレワーク用パソコン購入及び通信環境整備した。	職員のテレワークを推進することで、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に寄与した。
17	感染防止対策に係る備蓄品の整備事業	感染防止対策に係る備蓄品を整備する。	1,226	感染防止対策の消耗品、備蓄品を整備した。	感染防止対策のための消耗品、備蓄品を整備することで、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に寄与した。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業（令和2年度実施計画分）の実施状況と効果

整理番号	事業名	事業概要	交付金活用額 (千円)	事業実施状況	効果検証
18	就労継続支援事業利用者臨時福祉金事業	新型コロナウイルス感染症により、通所する障害者就労支援事業所が休業となり生活に支障の出ている障害者に対し、補償福祉金を支給する。	520	対象者に対して、補償福祉金を支給した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた障害者の経済的負担軽減に寄与した。
19	乳児健診や幼児健診等における感染防止対策事業	乳児、幼児健康診査、母子訪問相談等において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる。	826	感染防止対策消耗品の購入、感染防止対策の個別案内送付などを実施した。	感染防止対策を実施することで、乳児健診や幼児健診等を安全に実施することができた。
20	感染予防物資支援事業	市内において、クラスターなど緊急で防護服等が必要になる場合に備えて感染防護服を備蓄する。	2,728	感染防護服セットを備蓄した。	クラスター発生時などの緊急時の対応をするための体制を整備することができた。
21	集団がん検診における感染防止対策事業	がん検診等において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるもの。	177	感染防止対策を講じるための人員増及び感染防止対策消耗品を整備した。	感染防止対策を実施することで、がん検診等を安全に実施することができた。
22	プレミアム付商品券発行事業	市内での消費喚起を目的として、まちなか周遊推進協議会が実施するプレミアム付商品券発行事業を支援する。	17,591	プレミアム付商品券発行事業へ補助金を交付した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地域経済の活性化に寄与した。
23	がんばる商店街支援事業	コロナ禍で落ち込んだ商店街の経営状況のV字回復を狙う目的で垂れ幕等の制作を支援する。	275	県の「富山県がんばる商店街支援事業」を活用した、垂れ幕等の制作経費を支援した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた商店街の活性化に寄与した。
24	宿泊割引キャンペーン事業	新型コロナウイルス感染症拡大により、落ち込んだ観光事業者の経営状況回復に向け、市内宿泊施設の割引券発行により観光産業の巻き返しを目指す。	2,971	宿泊割引券及び買い物券の発行や事務費に対して補助した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光事業者の経営状況回復に寄与した。
25	国の過剰木材在庫利用緊急対策事業の活用事業	新型コロナウイルス感染症の影響による、流通停滞で木材製品の在庫増に対応するため、国は過剰木材在庫利用緊急対策事業を創設した。この事業の補助対象外経費となる、公共施設の外構材に木材を用いる場合、その経費を補助するもの。	591	過剰木材在庫利用緊急対策事業の補助対象外経費について補助した。	補助対象外経費を補助することで、工事を円滑に実施することができた。
26	図書館の感染防止対策事業	図書館において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるもの	2,902	図書館において、感染症対策の実施した。	図書館において感染拡大防止対策を講じることで、図書館の安全な利用に寄与した。
27	新生児特別定額給付金給付事業	令和2年4月28日（特別定額給付金基準日の翌日）以降に生まれ、小矢部市に住居登録された新生児を対象に、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、給付金を支給する。	14,794	新生児特別定額給付金を給付した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の経済的な負担軽減に繋がった。
28	新型コロナウイルス感染症対策臨時特別支援事業	新型コロナウイルスとインフルエンザが同時に流行するのを防ぐために、インフルエンザ予防接種の現行の助成内容を見直すもの。	18,817	予防接種費用助成の対象を拡充し支援した。	新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行の防止に寄与した。
29	情報教育環境整備事業（単独分）	小中学校における、GIGAスクール構想実現に向けた整備を行う。	39,519	GIGAスクール構想実現に向けた環境整備を実施した。	各種環境整備を行うことでGIGAスクール構想実現に向けた、円滑な事業実施に繋がった。
30	老人福祉センター事業コロナ対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、既存の休憩室だけではソーシャルディスタンスを保つのが難しいため、別に休憩室を用意する。	3,047	老人福祉センター運営委託料について、休憩室追加分の費用を増額した。	老人福祉センター休憩室でのソーシャルディスタンスを確保することができ安全な施設運営に寄与した。
31	祭り・イベント特別支援金事業	コロナ禍で開催できず、打撃を受けた小矢部三大祭りのひとつである石動曳山祭りに対して、伝統芸能を今後も継承していけるよう本来の補助基準を超えて交付し支援する。	461	補助基準を超える補助金を交付した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた伝統芸能の活動継続に寄与した。
32	スクールバスの感染防止対策事業	スクールバスの運転前後の消毒及び児童の乗降時前の手の消毒を徹底し、新型コロナウイルス感染症防止を講じる。	311	消毒液の購入し、スクールバス乗降時の消毒を徹底した。	スクールバス内での新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。
33	庁舎内コロナ対策事業	庁舎内にて、新型コロナウイルス感染症対策を講じる。	804	庁舎窓口での飛沫防止用パネル設置などの感染症防止対策の実施した。	庁舎窓口における市民と職員の新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業（令和2年度実施計画分）の実施状況と効果

整理番号	事業名	事業概要	交付金活用額 (千円)	事業実施状況	効果検証
34	陸上競技場の会議室空調改修事業	新型コロナウイルス感染症対として、喚起の悪い密閉空間を解消するために、陸上競技場会議室にて空調設備改修を行う。	2,200	陸上競技場会議室の空調設備を改修した。	陸上競技場会議室の換気機能が向上し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。
35	情報教育環境整備事業（単独分）	G I G Aスクール構想実現に向けた整備	23,027	各教室へ電子黒板を整備した。	各教室に電子黒板が整備され、学習活動が一層充実した。
36	夏季休業中の授業実施事業	学校の臨時休業に伴い夏季休業中に授業を実施する。	4,963	夏季休業中に授業実施した。	授業に必要な人員を確保することができ、滞りなく授業を実施することができた。
37	文化芸術振興費補助金	クロスランドおやべの管理棟の空調機を改修及び消毒液の設置等により、感染防止対策を行う。	10,054	空調改修及び消耗品の購入を行った。	クロスランドおやべの管理棟の換気機能が向上したことなどにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与した。
38	無線システム普及支援事業費等補助金事業（単独分）	市内において、光ファイバー未整備地区を解消し、市内全域で光ファイバーを活用できるようにするもの	168,158	光ファイバー網（通信以外分）を整備した。	市内全域で光ファイバーのインフラが整備され、ウィズコロナによる新しい生活様式に対応するための環境づくりに寄与した。
39	母子保健衛生費補助金	新型コロナウイルス流行下における妊産婦が安心して相談できる体制整備を行う。	94	オンラインによる保健指導等が実施できるように機器等を整備した。	オンラインによる保健指導等を実施することで、妊産婦が安心して相談できる体制を整備した。
40	地域自殺対策強化交付金	新型コロナウイルス感染症の影響による自殺を未然に防止する。	28	新型コロナウイルス感染症に対応した対面相談事業を実施した。	人員確保、感染防止対策を行い、自殺に関する相談体制・感染対策の強化することができた。
41	公共交通対策事業	運行の際に実施する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に対して支援する。	386	必要な感染症拡大防止対策に対して支援した。	公共交通機関運行時に対策が行われることにより、感染拡大防止に寄与した。
42	地域医療体制整備費事業	コロナ禍における受診者の減少等により運営継続に支障をきたしている急患センターを支援する。	4,400	急患センターの運営資金を支援した。	急患センターの安定的な運営に寄与し、地域医療体制の維持された。
43	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等の検査費を助成する。	10	新型コロナウイルス感染症の検査費を助成した。	助成対象の高齢者等の安定した生活に寄与した。
44	インキュベーター施設管理事業	商業インキュベーター施設にて、空調整備を行うことにより新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる。	1,265	インキュベーター施設に空調設備を設置した。	商業インキュベーター施設での感染拡大防止に寄与し、利用者が安心して利用できた。
45	道の駅空調整備事業	道の駅メルヘンおやべにて、空調整備を行うことにより新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる。	900	道の駅メルヘンおやべに空調設備を設置した。	道の駅メルヘンおやべでの感染拡大防止に寄与し、利用者が安心して利用できた。
46	指定管理施設支援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に大きな影響を受ける指定管理者に対し、公の施設の安定した運営を支援する。	4,400	指定管理施設継続運営支援金を支給。	新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた指定管理者施設の安定した運営に寄与した。
47	文化スポーツセンター空調整備事業	小矢部市文化スポーツセンターにて、空調整備を行うことにより新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる。	17,160	小矢部市文化スポーツセンターに空調設備を設置した。	小矢部市文化スポーツセンターでの感染拡大防止に寄与し、利用者が安心して利用できた。
48	小矢部サイクリングターミナル空調整備事業	小矢部サイクリングターミナルにて、空調整備を行うことにより新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる。	9,877	小矢部サイクリングターミナルに空調設備を設置した。	小矢部サイクリングターミナルでの感染拡大防止に寄与し、利用者が安心して利用できた。
49	クロスランドおやべ自動水栓化事業	クロスランドおやべにて、洗面台等の自動水栓化を行うことにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる。	1,770	クロスランドおやべの洗面台等を自動水栓化した。	クロスランドおやべでの感染拡大防止に寄与し、利用者が安心して利用できた。
50	総合保健福祉センター換気機能改善事業	総合保健福祉センターにて、窓の換気機能改善を行い、新型コロナウイルス対策感染症拡大防止対策を講じる。	4,488	総合保健福祉センターの窓の開閉機能を改善した。	総合保健福祉センターでの感染拡大防止に寄与し、利用者が安心して利用できた。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業（令和2年度実施計画分）の実施状況と効果

整理番号	事業名	事業概要	交付金活用額 (千円)	事業実施状況	効果検証
51	成人式対策事業	新型コロナウイルス感染症の流行下における成人式にて、感染症拡大防止対策を講じる。	450	感染症拡大防止対策を講じ、成人式を実施した。	成人式での感染拡大防止に寄与し、新成人の方々が安心して参加できた。
52	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナウイルス感染症対策として、学校からの遠隔学習機能の強化のため機器を整備する。	167	カメラやマイク等の情報機器を整備した。	情報機器を整備することで、遠隔学習が円滑に実施できた。
53	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避け、安心して学ぶことができる体制整備を促進する。	325	感染症対策のためのマスク等購入した。	マスク等の保健衛生用品を確保できたことで、集団感染のリスクが減少し、安心して学習できる環境を整備できた。
54	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避け、安心して学ぶことができる体制整備を促進する。	5,017	学校再開に伴う感染症対策を実施した。	感染症対策を実施したことで、集団感染のリスクが減少し、安心して学習できる環境を整備できた。
55	クロスランドおやべ空調整備事業	クロスランドおやべにて、空調整備を行うことにより新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる。	2,811	クロスランドおやべに空調設備を設置した。	クロスランドおやべでの感染拡大防止に寄与し、利用者が安心して利用できた。
56	無線システム普及支援事業費等補助金	市内において、光ファイバー未整備地区を解消し、市内全域で光ファイバーを活用できるようにする。	230,804	光ファイバー網（通信分）を整備した。	市内全域で光ファイバーのインフラが整備され、ウィズコロナによる新しい生活様式に対応するための環境づくりに寄与した。
57	外国人向けAIチャットボット導入事業	AIチャットボットを導入し、非接触による情報提供・対応力の向上等により観光サービス整備を図る。	153	英語対応のAIチャットボットを整備した。	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた外国人観光客の利便性向上に寄与した。
58	育児等健康支援事業	新型コロナウイルス流行下における妊産婦が安心して相談できる体制を整備する。	56	モバイルルーターを導入した。	オンラインによる相談を実施することで、妊産婦が安心して体制を整備した。
59	学校保健特別対策事業費補助金	感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入経費を支援する。	4,000	感染症対策のためのマスク等を購入した。	マスク等の保健衛生用品を継続して確保できたことで、集団感染のリスクが減少し、安心して学習できる環境を維持できた。